

## リハビリテーション科より ロボットスーツHAL導入のお知らせ

ロボットスーツHAL福祉用は、人が動こうとする際に皮膚表面に流れる微弱な電位信号を身体に取り付けたセンサーが感知し、コンピューター制御によって各関節のモーターを適切に稼働させて装着者をアシストします。

平成24年6月(予定)からHAL短期集中リハビリ入院を受け付けます

### 対象者の条件

- \*立ち座りや歩行動作に不自由を感じる方、補助が必要な方
- \*下肢の筋力が低下している方
  - ※座位が取れない、適切に電位を検出できない場合は適応外となります。
  - ※心臓ペースメーカー装着者等、医師が不適切と判断される場合があります。

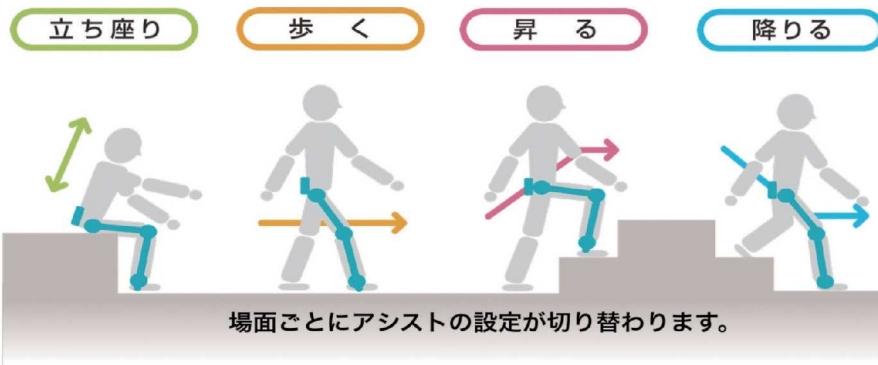
### プログラムについて

- 4週間の入院となります。
- HAL装着訓練(通常の理学療法を含む)で1日最大2時間の訓練を受けていただきます。  
※効果には個人差があり、必ずしも効果があるとは限りません。

### お問い合わせ、申し込み方法

問い合わせ先：医事課(電話 0744-32-0200)

1. 外来でHAL担当医の診察を受け、入院の可否を判定します。  
まずは、医事課(電話:0744-32-0200)までお問い合わせください。
2. 入院申し込みの手続きを行います。



ロボットスーツHAL導入のお知らせ(P1)  
芋掘りにご招待されました(P4)

通園センターより平成24年4月からの制度変更のお知らせ(P2.P3)  
発達障害について(P4)

# わかくさ愛育園

(奈良県心身障害児総合通園センター)

## 平成24年4月から制度が変わりました。

### 障害児発達支援センター

就学までの児童・家族を対象とし、医療的ケア、機能訓練、発達支援、相談支援などを保育・療育を通して提供し、利用者ひとりひとりの状況に応じて発達や成長を支援します。

保護者の方々に子育てに必要な知識・技術・元気・喜びを獲得していただくことと、母子愛着関係を形成することの重要性を考えて、親子通園の形態を基本としています。

### 医療型児童発達支援センター (旧肢体不自由児通園施設)

歩行機能・運動機能訓練を必要とする就学前の児童が通っています。

訓練士(PT・OT・ST)と連携しながら、遊びや生活習慣を中心においた保育活動を取り入れています。

児童が訓練で習得した学習運動能力を高める場としての環境設定を行い、能力が十分に発揮されるように考慮した保育活動を提供します。(親子通園)



### 福祉型児童発達支援センター (旧知的障害児通園施設・難聴幼児通園施設)

知的面や言語に遅れのある子どもたちや、集団になじめない、情緒面や行動に課題のある歩行可能な子どもたちが通っています。

年齢と保育年数に応じてグループ分けを行い、保育の内容や時間をグループごとに設定しています。(親子通園・単独通園等。)

また、地域の保育所・幼稚園に在籍している療育を必要とする子どもたちに、週1日程度、療育の機会を提供する並行通園を実施しています。(昨年までの知的障害児、難聴幼児に加え、本年度より発達障害児も対象になります。)



### 福祉型児童発達支援センター (重心児対象)

心身の障害の程度がきわめて重く、常時介護を必要とする障害児(就学前の児童)とその家族が地域の中で共により良い社会生活が送れるよう援助することを目的に、在宅重症心身障害児支援を行います。

家族と離れて(単独通園)、保育士・訓練士・看護師と一緒に保育活動しながら、身体機能・健康の維持促進を促します。(旧重症心身障害児(者)通所事業 児童クラス)



### 生活介護 (18歳以上の重症心身障害者)

在宅の重症心身障害者が日常生活の場を確保され、日常生活動作、運動機能の維持促進を図るとともに単独療育によりご家族のご負担の軽減を図ります。

利用対象者は移動困難で常時介護を必要とする、障害程度区分5・区分6の18歳以上の方です。

(旧重症心身障害児(者)通所事業 成人クラス)



## 1日のスケジュール

	児童発達支援 (医療型)	児童発達支援 (福祉型)	児童発達支援 重心	生活介護
10:00	設定保育1 体操・朝の会 水分補給	朝の会 体操 水分補給	体調チェック 水分補給 体操・朝の会	体調チェック 水分補給 朝の会
12:00	設定保育2 昼食 帰りの会	設定保育 昼食 帰りの会	設定保育 昼食	ストレッチ 昼食
15:00	昼の会 設定保育3 帰りの会	昼の会 設定保育 帰りの会	午睡 帰りの会	活動 帰りの会

## 平成24年度から新たに実施する事業（障害児発達支援センター）

（現在、市町村やわかさ愛育園で実施に向けて準備を進めていますが実施時期は未定です。）

### 相談支援事業

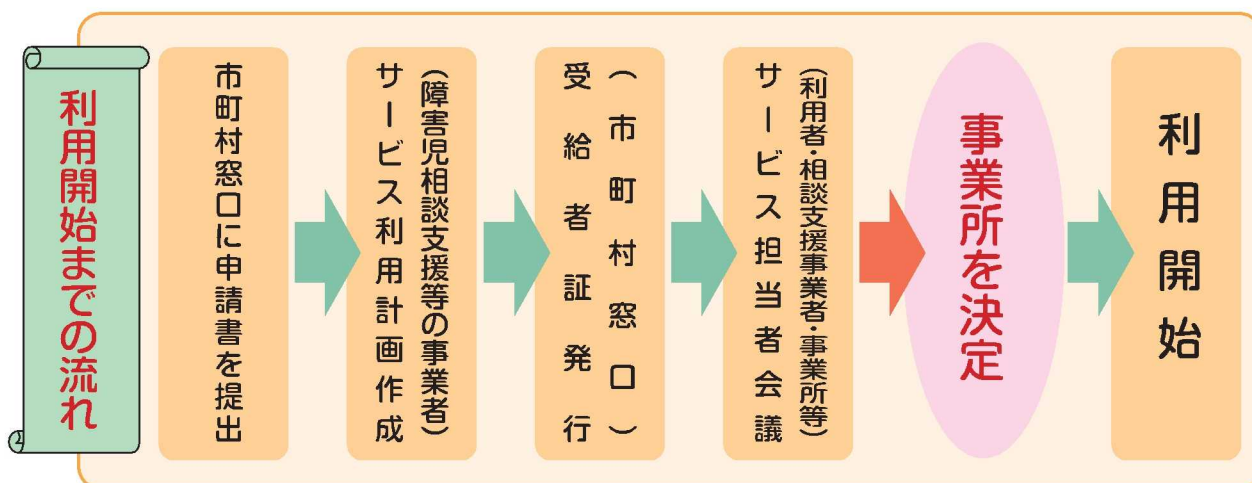
平成24年度から全ての障害児・者福祉サービス（在宅・施設利用）を受けるためには事前にサービス等計画又は障害児支援等利用計画の作成が義務づけられます。それぞれ個人の方の障害の状況に応じた計画を作成します。

### 保育所等訪問支援事業

保育所・幼稚園等を現在利用中、又は今後利用する予定の障害児が、保育所等における集団生活に適應するための専門的な支援を提供します。

### 発達障害児療育支援事業（仮称）

わかさ愛育園に通うことが困難又はリハビリテーションセンターの外来訓練に通うことが困難な発達障害のお子さんを対象に家庭等に作業療法士（OT）、保育士がお伺いし、訓練・保育を提供すると共に保護者の方からご相談にも応じます。



わかさ愛育園では、児童指導員・保育士の他、医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、心理相談員が連携し、障害者の療育に取り組んでいます。

連絡先 0744-32-0200 (内線554)  
わかさ愛育園

## 芋掘りにご招待されました

### わかくさ保育園

平成23年10月、心身障害児総合通園センターの子どもたちは、桜井市にある山田農園で芋掘りを体験しました。

橿原市にお住まいの上田勝氏のご招待を受けて、平成7年頃から芋掘りをしています。上田氏は農園の整備や芋の苗植え、水やり等を手弁当で続けて来られ、近隣の保育所幼稚園や通園センターの子どもたちを芋掘りに招待して下さいます。芋掘り当日は、親子とも軍手に長靴の芋掘りスタイルで畑に入ります。少し掘ってサツマイモの赤い皮が土の中に見えてくると子どもたちよりもお母さんたちが、一生懸命になります。初めて参加する子どもは、土やさつまいもを触ることができなかつたりしますが、回を重ねると掘ったさつまいもを運んだり、土の中から引っ張り出したりと積極的に参加するようになります。全身土だらけになり段ボール箱3こに入れても余るさつまいもを収穫しました。

子どもたちが芋掘りをしている間に職員が焼き芋を作ります。焼き芋用の釜も上田氏の手作りで、炭火焼きの焼き芋はほくほくして、いつもはさつまいもを食べない子どももペロリと食べてしまいます。

今年度は、上田氏の長年のご厚意に対して感謝状を贈呈しました。上田氏は大変喜ばれ、今後もできる限り芋掘り体験農園を続けていきたいと語られました。



## 発達障害 (子どもから思春期、そして大人へ)

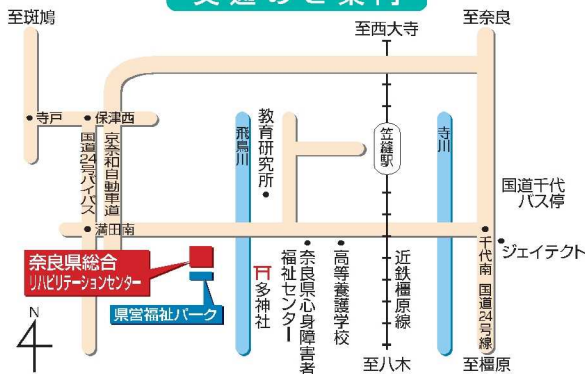
### 精神科 高橋 弘幸

発達障害にはAD/HD(注意欠如多動性障害)、PDD(広汎性発達障害:自閉症やアスペルガー障害)、LD(学習障害)、精神遅滞などがあります。

AD/HDやPDDなどの子どもは、場面・状況を読むことが苦手な衝動的に行動してしまうため、対人トラブルを起こします。自分の気持ちを押さえ込んでしまう時もあります。これらは「わがまま」や「内気」ではなく、ソーシャルスキル(対人関係技能)の弱さやセルフエスティーム(自己評価)の低下が大きく関係しています。発達の障害は子どもだけの障害ではありません。子どもから思春期、そして大人へ成長していく際、適切なソーシャルスキルを身につけていく必要があります。「適切なスキル」が身につけていないと、集団場面での適応障害を起こし、不登校になったり、行為障害を引き起こしてしまったり、感情障害(うつ病など)になってしまったりする事もあります。「上手くできた」体験からセルフエスティームは育まれていきますが、「適切なスキル」を身につけていくためには「自然に身につく」のを待つだけではなく、「意識的にトレーニングして身につけていく」必要があります。

当センターの精神科の児童思春期外来では、このような子どもたちにSST(ソーシャルスキルトレーニング)や「適切なスキル」のアドバイス等も行なっています。また、一般外来では成人の方の神経症主体の治療も行っています。

### 交通のご案内



### 交通機関

- 近鉄笠縫駅.....1.3km 徒歩約20分
- 近鉄田原本駅.....タクシー 約10分
- 近鉄八木駅.....タクシー 約10分
- リハビリセンター行バス 約15分  
(12/29~1/3は、運休)

○基本理念 私たちは障害のある方々の自立と社会参加に向け、総合的なリハビリテーションサービスを通して、相互に人格と個性を尊重し支え合う「ともに生きる」社会の実現に貢献します。

○基本方針 私たちは、基本理念を踏まえ、「利用者よし」「事業団よし」「地域よし」の「三方よし」の考え方を基本方針とし、職員一人ひとりが真心をもって、最適な医療・福祉サービスを提供します。

## 奈良県総合リハビリテーションセンター

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地  
電話0744(32)0200(代)  
FAX0744(32)0208

<http://www2.mahoroba.ne.jp/~narareha/>  
(社会福祉法人 奈良県社会福祉事業団)  
高次脳機能障害支援センター